

(四)

追記

平和の内情の重要地——エラスムス(一四六六—一五三六)
 平和の許え、我々のために——生後、即ち、其の父は、
 此も、西視をばしき——エラスムスの失ぬ——宗教的
 的——もう、なかりかえりて、いぬ——思も子
 (一五五五—一五七〇)——兼、後、非、初、論——兼、後、平、和、は、ん
 つかしく、ない、た、た、上、に、立、つ、人、を、其、の、政、治、の、意、を、と、せ、ず、
 女、分、あ、る、人、た、ち、が、野、心、の、根、幹、と、し、な、い、た、の、に、一、般、人、に
 と、つ、て、む、つ、か、し、い、——、切、改、造、——、過、激、期、の、世、界、——
 (2) ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿
 の、
 物、と、切、断、の、世、制、の、潤、和、を、調、解、型、

京都大学基礎物理学研究所